

**施工業者様へ** 施工前にこの施工説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。  
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

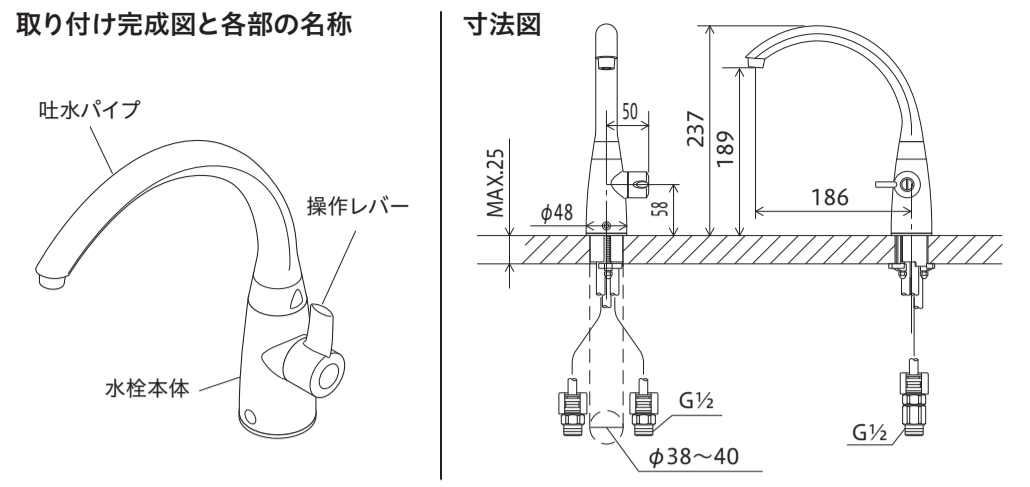
## 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはならない「禁止」の内容です この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<b>警告</b> 禁止 器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。	配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水管含む)には絶対に通電しないでください。
	禁止 器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	禁止 めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。
<b>注意</b> 注意 止水栓取り付け箇所や給水管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。	器具に強い力や衝撃を与えないでください。	配管接続部をテーパーねじに接続しないでください。
	注意 点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。
	止水栓取り付け箇所や給水管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。	凍結が予想される際は、水抜き方法に従って配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。
	注意 点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	注意 水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## 取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図



## 取り付け前に

- ① 使用水圧 (A = 配管圧力損失)  
(給水圧力) 最低必要水圧: A+50.0KPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ③ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ④ 本製品の通水温度は、35℃以下です。
- ⑤ 本製品は改造(加工および接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑥ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

## 販売元

**GrandDukes®** グランドデュクス株式会社  
 〒102-0082 東京都千代田区一番町7番1 一番町ビルディング6F / TEL: 0120-074-744 FAX: 0120-074-745  
 インターネットホームページ <http://www.granddukes.com>

## 製造元

**株式会社KVK**  
 本社・工場 / 〒501-1195 岐阜市黒野308  
 インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

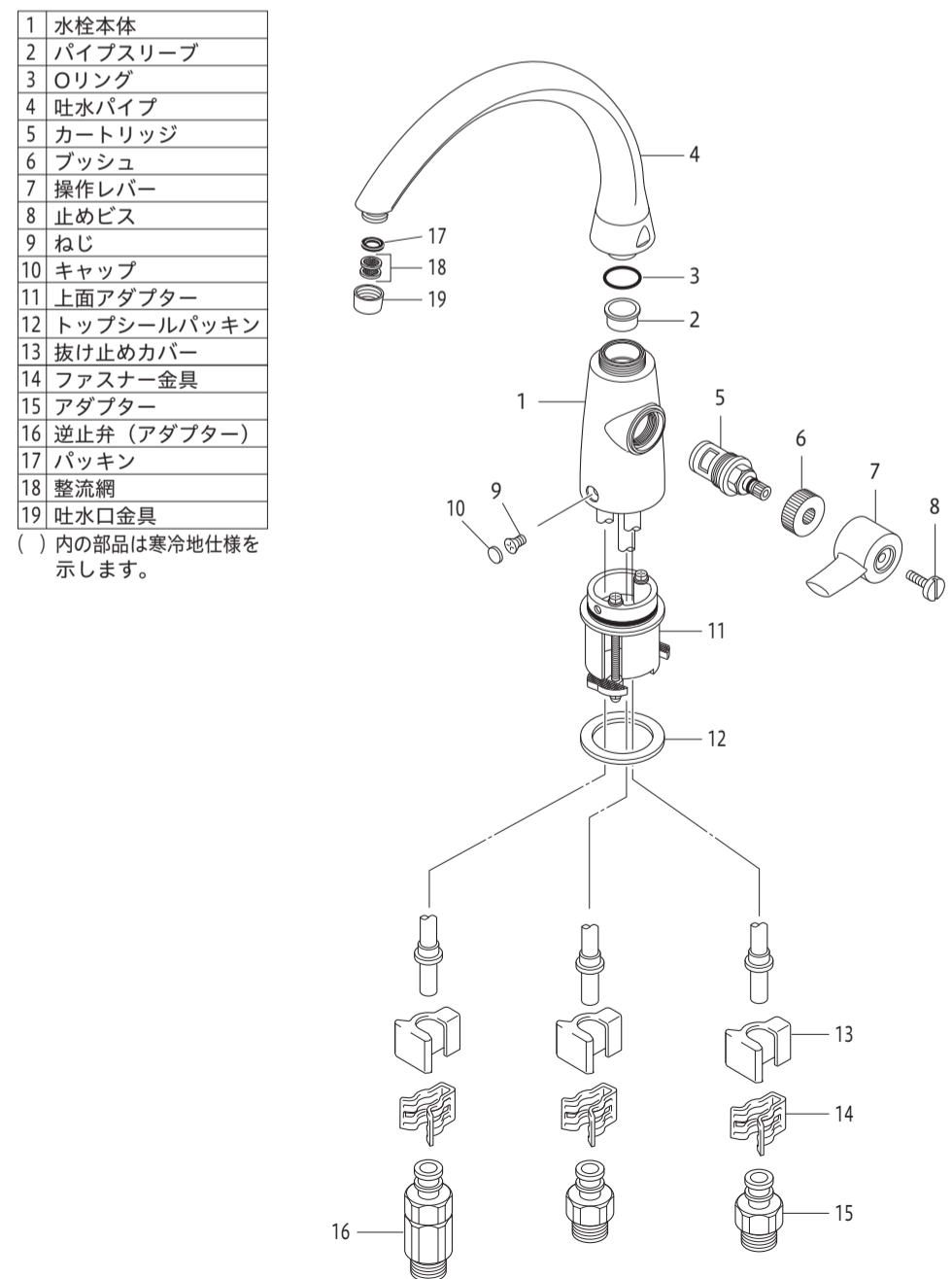
●修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。  
**☎ 0120-474-161** ※携帯電話からは、0574-55-1191をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています  
 技術料...診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用  
 部品代...修理に使用した部品代  
 出張料...製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

●商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご連絡ください。  
**☎ 0570-099-552**

## 分解図 この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



## 取り付け前のご注意

**浄水器水栓の取付(取り付けができないタイプ)**

- 壁面配管のとき
- ワークトップ(カウンタートップ)が厚さ25mm以上のとき

●ワークトップ(カウンタートップ)が天然大理石およびホーローの場合は、事前に浄水器用水栓の位置を決め、工場で穴あけをお願いしてください。(現場での穴あけは困難です。)

## 取り付け上のご注意

※施工手順は、右側に浄水器用水栓を設置した内容で説明しています。(左側に取り付けるときも同じ要領です)

■位置決めのポイント

混合水栓にあたらぬ所

シンクポケット(石鹸・洗剤入れ)にあたらぬ所

バックガードにあたらぬ所

ワークトップ底面に回転羽根の稼動するスペース(水栓センターからφ65程度)が確保されている位置

ステンレス製のワークトップで補強板が付いていない場合は、補強板を取り付けます。

## 取り付け手順 1

**1-1 浄水器水栓の取付**

- ① ワークトップに浄水器用水栓の取付穴(φ38~40)をあけてください。  
 ※ワークトップに浄水器用の穴が空いている場合は、その穴を利用してください。

## 取り付け手順2

1-2

- ② 上面アダプターのボルトをそれぞれ左側に回して回転羽根を最下部まで下げてください。
- ③ 回転羽根が上面アダプターの内側に入り込んでいるのを確認した後、上面アダプターを取付穴に通してください。この時、上面アダプターの位置決め穴が正面を向くようにしてください。

【△注意】上面アダプターは、取付穴のセンターに固定してください。取付穴と上面アダプターの間にすき間ができると、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ④ 上面アダプターのボルトをそれぞれ右側に回すと、回転羽根が外側に出てきます。そのままボルトを右側に回して、回転羽根を上をスライドさせ、上面アダプターと回転羽根でワークトップを挟み込み上面アダプターを固定してください。

【お願い】ワークトップを水平にした状態でボルトを回してください。回転羽根が回転しなくなります。

- ・ボルトは、必ずドライバーにて手締めしてください。電動ドライバーを使用すると、ボルトが破損するおそれがあります。
- ・2箇所ボルトは、交互に均等に締め付けてください。片締めすると回転羽根が傾き、ボルトが破損するおそれがあります。

- ⑤ 水栓本体ねじ部の保護キャップをはずし、吐水パイプをねじ込みます。このとき本体側にはパイプスリーブが、吐水パイプ側にはOリングがついていることを確認してください。

【お願い】吐水パイプのナットを手でいっぱい締めこんだ後、薄手の布をはさんで工具をかけ、傷つけないよう注意して増し締めしてください。

- ⑥ 水栓本体の位置決め穴と上面アダプターの位置決め穴が合うように、水栓本体をはめ込んでください。
- ⑦ 水栓本体の位置決め穴にねじを締め込み固定した後、キャップをはめ込んでください。

【△注意】ねじは斜めに締め付けしないでください。斜めに締め付けると、本体が確実に固定されず漏水するおそれがあります。

【お願い】ねじは、必ずドライバーにて手締めしてください。電動ドライバーを使用すると、ねじが破損するおそれがあります。ねじが破損した場合やねじに塗布している接着剤がなくなった場合は、必ず新しいねじ(Z420068S)を使用してください。

【△注意】ねじ締め付け後、確実に固定されているか確認してください。本体にがたつきがあると、漏水のおそれがあります。

5 ページ

2-1

### 逆止弁・アダプターの取付

【お願い】浄水器との接続は、浄水器側の説明書を参照してください。

- ① フレキ管に逆止弁(寒冷地仕様の場合はアダプター)を、IN側・OUT側のホースにアダプターを、それぞれパッキンをはさんで取り付けてください。

6 ページ

2-2

- ② フレキ管の逆止弁(寒冷地仕様の場合はアダプター)を水道水が流れるパイプに、IN側ホースのアダプターを、浄水器へ給水のパイプに、OUT側ホースのアダプターを浄水器より吐水のパイプへそれぞれはめ込んでください。パイプのつばとアダプター(逆止弁)のつばがすき間なくあうまで差し込んでください。

【お願い】各パイプや各ホース・逆止弁には、それぞれ接続先が分かるようにシールが貼られています。間違いのないように接続してください。

【△注意】接続パイプはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)

急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

- ③ ファスナー金具をパイプとアダプター・逆止弁双方のつばに引っ掛けるようにスライドさせて差し込み、固定します。(ファスナー金具は広げません)

【△注意】アダプター・逆止弁を持って下向きに持って引っぱり抜けないことを確認してください。しっかりとハマっていないと漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

【△注意】アダプターまたは逆止弁を抜けないことを確認してください。

- ④ ファスナー金具に抜け止めカバーをはめます。この時、抜け止めカバーの上の文字を上にしてパイプにはめてからファスナー金具まで下ろします。

7 ページ

## 取り付け後の点検と清掃

### 通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### 整流網清掃のお願い

吐水パイプの整流網にゴミ等が詰まると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

- ① 水全開で20~30秒吐水させます。
- ② 吐水口金具をはずす方向にひねって取りはずします。
- ③ 吐水口金具内の整流網をブラシで水洗いします。

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

## 故障かなと思ったら...

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページおよび項目
吐水量が少ない	整流網にゴミ等が詰まっていますか	整流網を清掃する	8 ページ 「整流網清掃のお願い」
	整流網は凍っていませんか	整流網にぬるま湯をかける	—
吐水が飛び散る	整流網にゴミ等が詰まっていますか	整流網を清掃する	8 ページ 「整流網清掃のお願い」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。メンテナンスは、しっかりと本体を保持しながら行ってください。吐水パイプ・操作レバーを持つてははずすと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。